

生涯発達看護学， 医療管理学および医療系社会学関連

准教授 川口 弥恵子
Yaeko Kawaguchi

現在の研究テーマと内容

1) 特定妊婦および社会的ハイリスク妊産婦に対する支援

近年、核家族化や少子化、長引く不況などを背景に母親の育児不安や児童虐待が社会問題となっています。妊娠期から育児期まで切れ目のない支援を行うためにどのようなことができるか研究しています。

2) 看護師の见えない仕事

看護師の仕事のうち、直接ケア以外のケアは軽視されてきました。それはなぜか、それらの仕事にはどのような意味があるのか、エスノグラフィという調査方法を用いて文化人類学的視座から研究しています。

これまでの研究成果と今後の展開

1) 川口弥恵子・平田伸子，2025，特定妊婦支援における助産師の中核能力の抽出——SCATを用いた質的分析，第66回日本母性衛生学会 発表予定

2) 川口弥恵子・伊藤泰信，医療の軌道管理の視点から看護を問いなおす——看護師の见えない仕事のエスノグラフィ，日本保健医療社会学論集 投稿中

3) Yaeko Kawaguchi, Yasunobu Ito, 2023, How to (Re) Define Nurses' Professionalism: An Ethnographic Study of Outpatient Nurses in a Small Clinic in Japan, 14th International Conference on Applied Human Factors and Ergonomics(AFHE 2023) and the Affiliated Conferences.

4) Yaeko Kawaguchi, Yasunobu Ito, 2023, How do ambulatory nurses perceive their work value? : An ethnographic study of a Japanese small clinic, The 2023 Annual Meeting of The Society for Applied Anthropology (SfAA).

大学院を目指すみなさんへメッセージ

研究の問いは、「当たり前」を問いなおすところから生まれます。エスノグラフィは、現場に長く身を置き、時間をかけて目の前の現象を丁寧に観察・記述・分析する研究方法です。これにより、当たり前から新しい見方や課題を発見できるはずです。

みなさんが日々経験している当たり前を、いったん立ち止まって見つめなおしてみませんか。